



Keystone Collectorをインストールします

Keystone

NetApp
April 05, 2024

目次

Keystone Collectorをインストールします	1
VMware vSphereシステムにKeystone Collectorを導入する	1
LinuxシステムへのKeystone Collectorのインストール	3
ソフトウェア整合性の自動検証	4

Keystone Collectorをインストールします

VMware vSphereシステムにKeystone Collectorを導入する

VMware vSphereシステムにKeystone Collectorを導入するには、OVAテンプレートをダウンロードし、* Deploy OVF Template *ウィザードを使用してテンプレートを導入し、証明書の整合性を確認し、VMの準備状況を確認します。

OVAテンプレートを導入します

次の手順を実行します。

手順

1. からOVAファイルをダウンロードします "[リンクをクリックしてください](#)" VMware vSphereシステムに保存できます。
2. VMware vSphereシステムで、「* VMs and Templates *」ビューに移動します。
3. 仮想マシン (VM) (またはデータセンター (VMフォルダを使用していない場合) に必要なフォルダを右クリックし、[Deploy OVF Template*]を選択します。
4. [Deploy OVF Template* (OVFテンプレートの展開)]ウィザードの[On _ Step 1_ (ステップ1 _)]で、[* Select and OVF template* (選択とOVFテンプレート*)]をクリックしてダウンロードしたテンプレートを選択 KeystoneCollector-latest.ova ファイル。
5. [On _ Step 2]で、VM名を指定し、VMフォルダを選択します。
6. 手順3_で、VMを実行するために必要なコンピューティングリソースを指定します。
7. オン_手順4：詳細を確認_。OVAファイルの正確性と信頼性を確認します。
7.0u2より前のバージョンのvCenterでは、コード署名証明書の信頼性を自動的に検証できません。vCenter 7.0u2以降で検証を実行できますが、その場合は署名認証局をvCenterに追加する必要があります。使用しているvCenterのバージョンに応じて、次の手順を実行します。

vCenter 7.0u1以前：詳細については、こちらをご覧ください

vCenterでOVAファイルの内容の整合性が検証され、OVAファイルに含まれるファイルに対して有効なコード署名ダイジェストが提供されていることが確認されます。ただし、コード署名証明書の信頼性は検証されません。整合性を確認するには、完全な署名ダイジェスト証明書をダウンロードし、Keystoneによって公開されているパブリック証明書に対してその証明書を検証する必要があります。

- a. [Publisher]リンクをクリックして、完全な署名ダイジェスト証明書をダウンロードします。
- b. から_Keystone Billing_public証明書をダウンロードします "[リンクをクリックしてください](#)"。
- c. OpenSSLを使用して、OVA署名証明書のパブリック証明書との信頼性を確認します。
`openssl verify -CAfile OVA-SSL-NetApp-Keystone-20221101.pem keystone-collector.cert`

vCenter 7.0u2以降：詳細を確認してください

7.0u2以降のバージョンのvCenterでは、有効なコード署名ダイジェストを指定した場合に、OVAファイルの内容の整合性とコード署名証明書の信頼性を検証できます。vCenterのルート信頼ストアにはVMware証明書のみが格納されています。NetAppは認証局としてEntrustを使用しているため、これらの証明書をvCenter信頼ストアに追加する必要があります。

- a. コード署名CA証明書をEntrustからダウンロードします "[こちらをご覧ください](#)".
- b. の手順に従います Resolution このナレッジベース (KB) 記事のセクション：
<https://kb.vmware.com/s/article/84240>。

Keystone Collector OVAの整合性と信頼性が検証されると、テキストが表示されます (Trusted certificate) 出版社と

Deploy OVF Template	
1 Select an OVF template	Review details
2 Select a name and folder	Verify the template details.
3 Select a compute resource	
4 Review details	
5 Select storage	
6 Select networks	
7 Customize template	
8 Ready to complete	

Publisher	Entrust Code Signing CA - OVCS2 (Trusted certificate)
Product	NetApp Keystone Collector
Version	20220405
Vendor	NetApp
Download size	8.3 GB
Size on disk	12.1 GB (thin provisioned) 200.0 GB (thick provisioned)

CANCEL BACK NEXT

8. [Deploy OVF Template* (OVFテンプレートの導入)]ウィザードの[On _ Step 5_ (ステップ5_)]で、VMを保存する場所を指定します。
9. 手順6_で、VMが使用するデスティネーションネットワークを選択します。
10. On _ Step 7 Customize template_で、管理者ユーザーアカウントの初期ネットワークアドレスとパスワードを指定します。



管理者パスワードは元に戻すことができる形式でvCenterに保存され、VMware vSphereシステムへの初期アクセスを確立するためのブートストラップクレデンシャルとして使用する必要があります。ソフトウェアの初期設定中に、この管理者パスワードを変更する必要があります。IPv4アドレスのサブネットマスクはCIDR表記で指定する必要があります。たとえば、255.255.255.0というサブネットマスクには24の値を使用します。

11. On Step 8 Ready to Complete of the ** Deploy OVF Template ** (OVFテンプレートの導入*ウィザードの完了準備完了) ウィザードで設定を確認し、OVA導入のパラメータが正しく設定されていることを確認します。

テンプレートからVMを導入して電源をオンにしたら、VMへのSSHセッションを開き、一時的な管理クレデンシャルを使用してログインし、VMが設定可能な状態にあることを確認します。

Initial System Configurationの略

OVAを使用して導入されたKeystone Collectorサーバの初期設定を行うには、VMware vSphereシステムで次の手順を実行します。



導入が完了したら、Keystone Collector Management Terminal User Interface (TUI ; ターミナルユーザインターフェイス) ユーティリティを使用して設定と監視のアクティビティを実行できます。Enterキーや矢印キーなど、さまざまなキーボードコントロールを使用してオプションを選択し、このTUI間を移動できます。

1. KeystoneコレクタサーバへのSSHセッションを開きます。ログインすると、TUIが表示されます。または、`keystone-collector-tui` CLIコマンドを実行してTUIを手動で起動することもできます。
2. 必要に応じて、TUIの** Configuration > Network **セクションでプロキシの詳細を設定します。
3. `[Maintenance]>[Update System]*`オプションを使用してKeystone Collectorを更新します。選択したミラーの一部が使用できない可能性があり、数回再試行するとシステムの詳細が更新されます。
4. システムのホスト名、場所、およびNTPサーバを、** Configuration > System **セクションで設定します。
5. `[* Maintenance]>[User *]`セクションでadminパスワードを更新します。
6. 「** Configuration > Advanced **」セクションで、初期OVAの設定を「complete」にします。

LinuxシステムへのKeystone Collectorのインストール

Keystone Collectorソフトウェアは、オンラインのYUMソフトウェアリポジトリによって配布されます。Linuxサーバにファイルをインポートしてインストールする必要があります。

Linuxサーバにソフトウェアをインストールするには、次の手順を実行します。

1. KeystoneコレクタサーバにSSH接続し、に昇格します `root` 権限：
2. Keystone公開署名署名をインポートします。

```
# rpm --import https://keystone.netapp.com/repo/RPM-GPG-NetApp-Keystone-20221101
```
3. RPMデータベースでKeystone請求プラットフォームのフィンガープリントを確認して、正しいパブリック証明書がインポートされていることを確認します。

```
# rpm -qa gpg-pubkey --qf '%<Description>' | gpg --show-keys --fingerprint
```

正しい指紋は次のようになります。

```
90B3 83AF E07B 658A 6058 5B4E 76C2 45E4 33B6 C17D
```
4. をダウンロードします `keystonerepo.rpm` ファイル：

```
curl -O https://keystone.netapp.com/repo/keystonerepo.rpm
```

5. ファイルの信頼性を確認します。

```
rpm --checksig -v keystonerepo.rpm`本物のファイルの署名は次のようになります。  
`Header V4 RSA/SHA512 Signature, key ID 33b6c17d: OK
```

6. YUMソフトウェアリポジトリファイルをインストールします。

```
# yum install keystonerepo.rpm
```

7. Keystone repoがインストールされたら、YUMパッケージマネージャを使用してKeystoneコレクタパッケージをインストールします。

```
# yum install keystone-collector
```



インストールが完了したら、Keystone Collector管理のターミナルユーザインターフェイス (TUI) ユーティリティを使用して設定と監視のアクティビティを実行できます。Enterキーや矢印キーなど、さまざまなキーボードコントロールを使用してオプションを選択し、このTUI間を移動できます。を参照してください ["Keystoneコレクタを設定する"](#) および ["システムヘルスを監視する"](#) を参照してください。

ソフトウェア整合性の自動検証

Keystoneソフトウェアの整合性を検証するプロセスは、繰り返し実行されます。

で提供されるKeystone YUMリポジトリのクライアント設定 `keystonerepo.rpm` 適用されたGPGチェックを利用する (`gpgcheck=1`) をクリックします。署名の検証に失敗したKeystoneリポジトリからダウンロードされたRPMはインストールできません。この機能は、Keystoneコレクタの定期的な自動更新機能で使用され、有効で正規のソフトウェアのみがお客様のサイトにインストールされていることを確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。